

あいさつ運動の好事例

津山市立久米中学校

(児童数 166名 教職員数 19名)

「誇りを胸に思いやりの心を持とう」 ～誇りの源は何か?～

アピールポイント

「誇りを胸に思いやりの心を持とう」これは、久米中学校の生徒会目標です。生徒会のメンバーが交代したとき、改めてこの目標について生徒会長を中心に考えてみました。

私たちの誇りとは何なのか、それは笑顔溢れる学校である。それならば、みんなが笑顔になれる取り組みをしようと考えてあいさつ運動を実施することになりました。

校内だけに留まらず、地域みなさんも笑顔になって欲しい。久米中の元気の良さを感じて欲しいと学校近くの交差点に毎週月・金曜日に立って笑顔で始まる朝を目標に頑張っています。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

生徒会本部の生徒を中心に生徒会目標である「誇りを胸に思いやりの心を持とう」を合い言葉に一人ひとりが気づいて行動できるよう心がけて生活している

■活動内容

生徒会本部のメンバーが毎週月曜日と金曜日の朝7:40から8:00まで交差点に立って登校する生徒や地域の方々にあいさつをする。

■取組の参加メンバー

生徒会本部・生徒会担当教員・地域の交通当番の方

■成果・効果

P T Aの方に作って頂いたのぼりを持って、あいさつ運動を行うことによって、地域の方が通勤の途中に気がついて見てくださったり、声をかけてくださったりしている。その事によって、生徒の意識も高くなり行動にメリハリが出てきた。

あいさつ運動は、生徒会本部だけでなく学級委員会も実施しており、授業の開始・終了のあいさつから気持ちの良いあいさつをしようと学校全体で取り組んでいる。

子どもたちから行動したことが校内だけでなく、地域の方からも認められていることを実感することが少しずつできている。このような経験や体験をすることが、小さなことも一生懸命できる生徒の育成につながることを願っています。